



宮城東部JV新聞

JFE・鹿島・鴻池・飛島・橋本・東北重機
特定業務共同企業体
宮城東部ブロック災害廃棄物処理業務JV事務所
〒983-0001 仙台市宮城野区港1丁目5番1号

広域処理を開始（中倉一次仮置き場～株式会社アシスト（山形県村山市））



塩竈市長挨拶の様子



アシストでの荷卸の様子

【搬出までの経緯】

- 平成24年10月31日 村山市に対し災害廃棄物の受入打診
- 11月13日 村山市職員が現地視察
- 12月11日 村山市職員及び住民代表が現地視察
- 平成25年1月11日 白鳥地区住民説明会
- 1月12日 深沢地区住民説明会
- 1月15日 長島地区住民説明会
- 2月8日 搬出開始

東日本大震災により発生した災害廃棄物の処理に関して、宮城県・村山市・(株)アシスト間で協議が整い、広域処理を開始することとなりました。

対象となる災害廃棄物は、瓦・陶磁器類・石膏ボード・不燃物(選別残渣)で、処理量は最大22,000トン、期間は平成25年2月8日から同年12月末までとなっています。

2月8日の初搬出時には、塩竈市佐藤市長様・宮城県環境生活部佐々木次長様を始めとし、多数の関係者と報道陣が来訪しました。

二次仮置き場B(高砂埠頭)の廃棄物搬出完了



最後の梱包品の積み込み様子

宮城東部JVは、『二次仮置き場B(高砂埠頭)』での災害廃棄物の搬出を、平成25年2月25日に完了しました。

当仮置き場は仙台・塩釜港の高砂埠頭に位置し、圧縮梱包された可燃物の仮置き場として、平成24年5月より利用してきました。

今後は、仮設物等の撤去および土壌調査を行い、管理者へ返却する予定となっています。



搬出完了後の記念撮影の様子
(左から千葉重機の村上さん、佐藤さん、加藤さん、遠藤さん)

【二次仮置き場B(高砂埠頭)の概要】

住 所	: 仙台市宮城野区港1丁目7-1
面 積	: 約25,900m ²
廃棄物の種類	: 圧縮梱包された可燃物
管 理 者	: 宮城県土木部港湾課

【平成25年2月28日現在の焼却処理実績】

焼却量(累計): 43,273トン 焼却進捗率: 43%